

令和3年度 入学生用 [公 民 科] シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
公民	倫理	2	選択科目	2年	
使用教科書	未定			担当者	

学習目標	社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。																		
学習方法	教科書をもとに先人の思想に触れ、「より良く生きる」ということについて考える。																		
学習評価	<table border="1"> <tr> <th>育成を目指す資質・能力</th> <th>育成を目指す資質・能力の評価内容</th> </tr> <tr> <td>1 基盤的学力</td> <td>文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。</td> </tr> <tr> <td>2 問題発見・解決能力</td> <td>問いを立て、解決に向かうことができる。</td> </tr> <tr> <td>3 情報活用能力</td> <td>情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。</td> </tr> <tr> <td>4 主体的判断能力</td> <td>物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。</td> </tr> <tr> <td>5 協働力</td> <td>他者を尊重し、協働することができる。</td> </tr> <tr> <td>6 自律力</td> <td>規範意識をもって自律的に行動することができる。</td> </tr> <tr> <td>7 実践力</td> <td>自ら考えて行動し実践することができる。</td> </tr> <tr> <td>8 自己認識力</td> <td>自分の思考を客観的に捉えることができる。</td> </tr> </table> <p>以上の観点をふまえ、 ・先人の言葉や考え方を学び、そこから自らの生き方や社会のあり方について考えるようになったかを、定期考査や作文、グループ学習での取り組みによって総合的に評価します。</p>	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容	1 基盤的学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。	2 問題発見・解決能力	問いを立て、解決に向かうことができる。	3 情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。	4 主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。	5 協働力	他者を尊重し、協働することができる。	6 自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。	7 実践力	自ら考えて行動し実践することができる。	8 自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。
	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容																	
	1 基盤的学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。																	
	2 問題発見・解決能力	問いを立て、解決に向かうことができる。																	
	3 情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。																	
	4 主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。																	
	5 協働力	他者を尊重し、協働することができる。																	
	6 自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。																	
	7 実践力	自ら考えて行動し実践することができる。																	
8 自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。																		
担当者から	「考えること」「考えを深めること」の意義と、そのためには知ること、学ぶことが必要であることに気づいてもらえることが、学習の目的です。																		

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価基準	評価方法				
				1	2	3	4	5	6	7	8						
4	1 現代に生きる自己の課題	1 人間とは何か	1 人間とは何か	○				○					哲学の意味を知り、学びへの関心を持つことができる。	定期考査、授業参加 グループ討論への取組 作文			
4		2 青年期の課題と自己形成	1 青年期の意義	○								○					
4			2 自己の理解に向けて	○									○				
4			3 豊かな自己実現のために	○									○				
5	2 人間としての自覚と生き方	1 人生における哲学	1 神話から哲学へ	○									ギリシア哲学を学び、先人の思想に興味・関心を持ち、自らの生き方について考えられる。				
5			2 自然哲学の誕生とソフィスト	○			○										
5			3 真の知への道ーソクラテス	○			○										
5			4 理想主義的なあり方ープラトン	○													
5			5 現実主義的なあり方ーアリストテレス	○													
5			6 幸福をめぐる問いーヘレニズムの思想	○													
6		2 人生における宗教	1 キリスト教ー愛の宗教	○			○						宗教を理解し、人間にとっての宗教の存在について考えられる。				
6			2 イスラム教ー啓示と戒律の宗教	○			○										
6			3 仏教ー智慧と慈悲の宗教	○			○										
7		3 人生の知恵	孔子と儒家の思想	儒教の展開	○			○					中国の思想に触れ、生き方や社会のあり方について考えられる。				
7				道家の展開	○			○									
7																	
8	4 人生における芸術	4 人生における芸術	4 人生における芸術	○								芸術の有意性について理解する。					
9			3 現代社会と倫理	1 現代の倫理的課題	1 現代の倫理的課題	○	○						西洋思想に触れ、社会の変化とともに、人間は苦悩し、様々な思想を生み出したことを知る。				
9					2 現代に生きる人間の倫理	1 人間の尊厳	○	○							自らの生き方や社会との関わりについて考えられる。		
9						2 自然や科学技術と人間のかかわり	○			○							
9						3 民主社会における人間のあり方	○			○							
10						4 自己実現と幸福	○			○							
10	5 個人と社会のかかわり	○								○							
10	6 現代における理性の問題	○	○														
11	4 国際社会における日本人の自覚	1 日本の風土と外来思想の受容	1 日本の風土と伝統	○								日本の思想に触れ、日本人の思考が風土や歴史の中でどのように生み出されてきたかを知る。					
11			2 仏教の伝来と隆盛	○									日本人としての自覚と、これからの生き方や社会のあり方について主体的に考えられる。				
11			3 儒教の日本化	○													
11			4 日本文化と国学	○													
11			5 近代庶民の思想	○													
11			6 西洋近代思想の受容	○													
12		2 現代の日本と日本人としての自覚	2 現代の日本と日本人としての自覚	2 現代の日本と日本人としての自覚	○	○				○							
12				5 現代の諸課題と倫理	1 生命と倫理	1 生命と倫理	○			○				様々な思想に触れ、そこから自分の考えを深める。			
12						2 環境と倫理	2 環境と倫理	○			○				現代の諸課題について、自分の意見を述べられるようになる。		
12							3 現代の家族とその課題	3 現代の家族とその課題	○			○					
12								4 地域社会の変容と共生	4 地域社会の変容と共生	○			○				
12									5 情報社会とその課題	5 情報社会とその課題	○			○			
1	6 グローバル化の時代と倫理									6 グローバル化の時代と倫理	○			○			
1		7 人類の福祉と国際平和	7 人類の福祉と国際平和							○			○				